

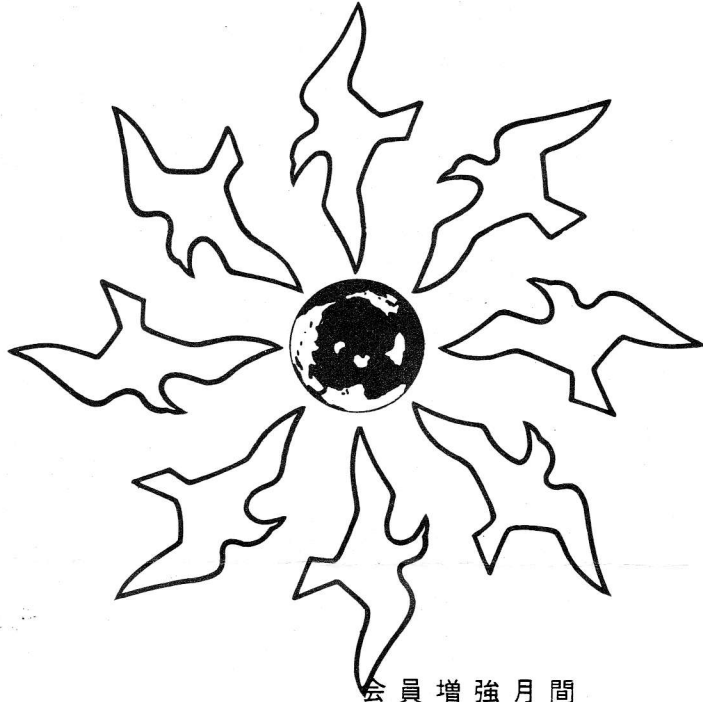


THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

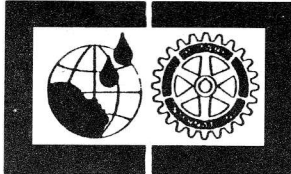
PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

ロータリーに
活力を--
あなたの
活力を



会員増強月間

PolioPlus



● 次回卓語予定者

1988・7・29・(金) 第39回例会

本日のプログラム

1. 点 鐘
2. ロータリーソング(我等の生業)
3. 食 事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員長報告
7. 会員卓話
8. 点 鐘

佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日(12:30~13:30)
 例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015
 事務所 〒880-03 佐土原町大字上田島1883番地
 TEL 0985-74-1078

会 長	山 脇	忍
副 会 長	池 田	仁 志
幹 事	齐 藤	数 馬
会 計	佐 野	保 雄
会報委員長	垂 水	敏 雄

第38回例会記録（昭63・7・22）

会長挨拶 山 脇 忍

皆さん こんにちは。本日は第38回例会であります。

ロータリーは基本的には一つの人生哲学であり、それは、利己的な欲求と、義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものです。

この哲学は、奉仕一「超我の奉仕」一の哲学であり、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という実践倫理の原理に基づくものであります。

本来ロータリークラブは、実業人及び専門職業人の代表として、ロータリーの奉仕の哲学を受け入れ、次の四つのことを実行することを目指している人々の集まりであります。

第一に、奉仕の理論が職業及び人生における成功と幸福の真の基礎であることを団体で学ぶこと。

第二に、自分達の間においても、また地域社会に対しても、その実際例を団体で示すこと。

第三に、各人が個人として、この理論をそれぞれの職業及び日常生活において実践に移すこと。

第四に、個人として、また団体としても、大いにこの教えを説き、その実例を示すことによって、ロータリアンだけでなく、ロータリアン以外の人々のすべてが、理論的にも実践的にもこれを受け入れるように励ますことです。



男女の仲は小説の永遠のテーマだといわれています。

それだけ不思議で底が深いものはないからでありましょう。

同様に、死に関するテーマや、特に最近進展している高齢化社会では、老いをめぐるテーマが現実味を帯びたテーマとなってきています。

今年初めに実施された、50代、60代の実年を対象とした、総理府の「実年に関する世論調査」では、高齢期の生活不安について第一に取り上げているのは、「自分や配偶者が寝たきりになること」で、68%を占めています。

これは、“高齢期の生活で大切なこと”に「健康」をトップにあげていることとよく一致しています。

また、先に科学技術庁が発表した未来予測によりますと、医療分野で、21世紀早々に動脈硬化などの成人病が一掃される可能性がある一方で、老人性痴呆の予防法の開発は、前回の予測から十数年後退して、2012年に見込まれています。

こうしてみますと、痴呆はガンとともに21世紀に向けて是非とも克服したい疾患であることは間違いありません。

それは、死と背中合わせのガンと、人格の変容をもたらす痴呆が、自己のみならず家族や医療関係者など周囲の人々に多大な負担をかけることになるからです。

それでは、精神の老化を防ぐにはどうすればよいか、ということになりますが、まだ科学的根拠によりそれを立証するものはありませんが、キケロがかなり以前に語っている言葉が現在で

もなお生きてくるのであります。

「老化に抵抗し、その障害を乗り越え、丁度病氣と戦うように老化と戦うことは、我々の義務である。ことに精神と魂とに対しては、最大の関心が必要である。

燈と同じく、それらは油を注がない限り暗くなっていくからである。

知的活動は精神に活力を与える。

物事に興味を持って活動を続ける限り、老年者の精神的な能力は維持される。」

まことに至言と考えます。

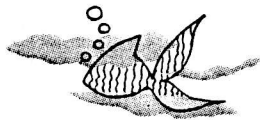
「あなたの精神に油を！」

そうしてロータリーに油を」



幹事報告 齊藤数馬

1. ガバナー月信 第13号を配付しました。
佐土原RC認証状伝達式の記事が17Pに掲載されております。
2. 岡村ガバナー月信 第2号を配付しました。
3. 例会の変更通知が次のように届いています。
 - ・宮崎西RC 7月29日(金)は、
18:00よりフェニックスH
 - ・宮崎南RC 8月1日(月)は、
17:30よりプラザ宮崎H
 - ・宮崎RC 8月2日(火)は、
12:00より宮崎観光H



会員卓話

生命保険について

日本生命佐土原支部長 坂本勝彦

日本に欧米の近代的保険制度が福沢諭吉によって紹介されたのは、慶応3年(1867年)のことですが、実際に生命保険会社が誕生したのは明治14年になります。

日本生命は明治22年7月14日が創立となります。

来年(昭和64年)7月14日で満100歳の誕生日を迎えます。

当社は、その後順調な発展をみたものの、第二次世界大戦の敗戦と経済上の打撃のために、生命保険事業は苦境に立ち、事実上崩壊の危機に陥りました。

しかし、その後の日本経済の復興や、生命保険に対する国民の認識の向上などにより、飛躍的な発展を遂げてきました。

特に、昭和30年以降の発展は著しく、女性外務員により毎年の新契約高や収入保険料は、20~30%の伸びを示し、50年代以降も安定した成長を続けております。

また、保有契約高も着実に伸び、国民所得に対する比率では、42年度に100%、50年度に200%を超え、61年度には365%と48年度に世界第1位となって以来最高水準を維持しています。

昭和63年には、「レインボウプラン」と称して、寝たきり老人、老人性痴呆症の方への介護保障を目的とした保険も創設しております。

(蛇足) キケロ (前106~前43)

Marcus Tullius Cicero

ローマの文人・哲学者・弁論家・政治家。

古典ラテン散文の創造者。

「国家論」、「義務論」等の哲学書が現存する。

アドレス

柏原利忠 宮崎県中部分区代理

宮崎大学の学長をされていた頃に外山三郎パ
スト・ガバナーが、よく言われたことは、「ロ
ーターリーは5年しなければ本当の良さがわから
ない」ということでした。私は最低3年は必要
と思います。

例会で、多くの良き友を得る、特に異業種の
トップメンバーのお話を聴いて貴重な勉強がで
きる、いろいろな世間のことがわかり視野が広
くなるなど、ローターリーは自分自身にとっても
将来必ず役に立つものなのです。

どうか皆さん、たとえ一時的に例会出席を休
もうか、と思われることがあるかも知れませ
んが30数年皆勤を続けられているチャーターメン
バーが県内RCに数名もおられるという偉大な
事実を目を向けられ、佐土原RC発展のため頑
張っていただきたいと思ひます。

経営者として、知識を身につけることが必要
ですが、私は今でも、新聞を4紙、週刊誌を2
冊、ベストセラー本を月に1冊は読んでいます。

いくら多忙な毎日でも、読書の時間は自分で
つくることです。このような日頃の積み重ねが、
自然と知識になり、豊富な話題のもとになるの
です。

(文章筆者)

ハッピーボーイス

雑誌委員長 濱田 松太郎

7月23日より24日にかけて、鹿児島市に旅行
してきました。

出席報告

第38回例会 7月22日(金)

会 員 数	17名
ホーム欠席者数	4名
ホーム出席者数	13名
ホーム出席率	76.47%
メイクアップ者数	0名
欠席者名	上田、鈴木、立山、金丸

この旅行の目的は、平素家に在って家事を切
り回し、子供の世話から主人の身の回りの世話
まで、あるいは対外切衝など、男には見えない
内助の功、苦勞をされる母ちゃんに対し、その
苦勞に報いる意味で、私共宮崎市郡獣医師会
では、毎年家族旅行を年中行事に組入れて、昭和
26年から欠かさず実施しているものです。

予算の関係や、お互い患畜等を抱えての旅行
なので、そう遠い所とか、長居とかもできず、
自然と近い所が対象となりますが、それでも、
一晩ご夫人を交え、浮世を離れて、苦勞話や時
にはカラオケが飛び出す等、夜の更けるのも忘
れさせ、結構ストレスの解消となり、明日への
活力を培う素となりました。

鹿児島市のことですから、行先はおなじみの
磯庭園をはじめ、城山コアラとなりましたが、
幸い桜島の降灰もなく天候に恵まれ、家族旅行
を楽しむことができました。

ただし、私はチョンガーで参加しましたので
念のため申し添えます。

城山に登り短歌を詠みました。

城山はつわものどもの夢のあと、われ
涙して当時を偲ぶ

ささやかでございますが、ハッピーさせてい
ただきます。

重ね重ねの多額のハッピーに、われら涙して
次のご旅行を期待す。奥様によろしく。

フリンキッド 樹木から
出る物質で人間の体
に良い。

ビジター紹介(敬称略)

宮崎 柏原利忠 宮崎県中部分区代理